

会計名			ホームタウンパートナー事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	普及係	
10	7	2							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	全国や世界で活躍するスポーツチームの情報等を市民に周知することで、地域に親しまれるチーム作りに寄与するとともに、「みるスポーツ」の促進を図り、本市のさらなるスポーツの活性化に寄与する。	主たる内容	○ホームタウンパートナー連絡会の開催（年3回） ○刈谷キラキラ教室の開催 ○ホームタウンパートナーチーム啓発用リーフレット等の作成 ○ウィングアリーナ（WA）刈谷等での啓発活動の実施					
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民、ホームタウンパートナーチーム	事業期間	平成27年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B事業 D実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー数 12チーム ・連絡会の開催 3回 ・リーフレット・うちわ作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 5試合 		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー数 12チーム ・連絡会の開催 3回 ・リーフレットやうちわ、横断幕等の作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 6試合 		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー数 12チーム ・連絡会の開催 3回 ・リーフレットやうちわの作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 8試合 		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー数 13チーム ・連絡会の開催 3回 ・啓発物品の作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 	
成果		国内最高レベルの試合を間近で観戦できる機会があることを多くの市民に周知することや、トップアスリートによるスポーツ教室、中学校部活動部員等のホームゲームへの招待等を通して「する・みる・ささえる」というスポーツの多面性の中で、一市民スポーツの推進を図ることができた。また、特に教室参加者からは、意欲的な意見が多く寄せられるなど、競技意欲の向上が図られ、ジュニア世代の育成に一定の成果を得ることができた。							
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー制度の趣旨や目的に対する各チームや母体企業の理解の深化 ・事業を推進するにあたっての、各チームを始めとする関係各所との連携の一層の強化 ・パートナーチームに所属しない個人競技者への支援のあり方についての検討 							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		刈谷キラキラ教室実施回数（回）		2	3	2	3	3	
活動指標									
他市との比較検証		トップレベルの多くの競技に身近で触れ合うことが出来る、全国的にもあまり類を見ない本市のスポーツ環境は、スポーツ振興を図る上で、本市の大きな強みとなっている。							
C事業 コスト 建設事業		単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①	366	1,056	424	856	合計	424,477 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	24,000 円	
		一般財源	366	1,056	424	856	需用費	375,421 円	
	職員人件費 ②	3,126	3,102	3,472	4,257	負担金、補助及び交付金	25,056 円		
	総事業費（①+②）	3,492	4,158	3,896	5,113				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			ホームタウンパートナー事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	様々な競技で、日本トップレベルのチームやアスリートが市内に数多く存在しているという、全国でも類まれな恵まれたスポーツ環境、すなわち、本市の強みや特性を活用した事業であり、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力発信のために非常に有益な事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	事業の実施にあたっては、パートナーチームの理解の下、グッズや観戦機会の提供、地域貢献活動としての本市事業への積極的な協力などをいただいております。市民協働による取組みの推進として、事業の実施に係る効率や妥当性、費用対効果は高いと思われる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	住みよいまちづくりや市の魅力発信のために、市が市の強みや特性を活用した事業を主体的に実施することは、必要かつ不可欠なことであると思われる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策として推進を図っており、「する、みる、ささえる」スポーツを通じた魅力あるまちづくりに貢献している。	
	今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	第3次刈谷市スポーツマスタープランでは、基本施策のスポーツを通じたまちづくりに位置付けられ、恵まれたスポーツ環境を有する本市だからこそ実施できる特色のある事業である。本事業は、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力向上・発信のために非常に有益となっていると思われるので、今後についても、各パートナーチームとの連携の強化等を図り、事業の一層の充実を目指していく。				

会計名		国際スポーツ大会等招致事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	普及係	
10	7					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	国際スポーツ大会等を誘致することで、次世代を担う青少年に夢や希望を与えるとともに、スポーツとのふれあいを通じて、市民が主体的にスポーツと関わる「豊かなスポーツライフの実現」に取り組む。	主たる内容	○国際スポーツ大会等の招致活動の実施 ・誘致推進委員会の開催 ・関係機関や競技団体への訪問等による調査、情報収集及びPRの実施					
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民、競技団体	事業期間	平成28年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・誘致推進委員会の設置 ・誘致推進委員会の開催 2回 ・フットサル国際親善大会の開催(4月ウィングアリーナ) ・日本バスケットボール協会等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施		・誘致推進委員会の開催 2回 ・バスケットボール女子日本代表国際強化試合の開催 ・フットサルリーグプレシーズンマッチの開催及び日本代表練習合宿の受入れ ・競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施		・誘致推進委員会の開催 1回 ・フットサルリーグプレシーズンマッチの開催及び日本代表練習合宿の受入れ ・競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施 ・東京オリンピック出場予定国事前キャンプ団体へのプレゼンテーションの実施		・誘致推進委員会の開催 2回 ・フットサル日本代表練習合宿の受入れ ・競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施 ・東京オリンピック出場予定国事前キャンプ招致に向けた調整及び準備の実施	
成果		フットサルプレシーズンマッチを招致し、ハイレベルな競技に触れ合う機会を多くの市民に提供することができた。また、本市の大会運営能力の高さを国内外の関係者にアピールすることができた。さらなる国際大会等の開催等を目指し、日本協会等関係団体との情報交換や本市の取組みの提案、東京オリンピック競技大会出場国キャンプ地誘致に係る誘致目標国競技団体関係者等の視察者受入を実施することができた。							
課題		・東京オリンピック出場国事前キャンプ地誘致に係る誘致目標国競技団体関係者等に向けた直接的な招致PR活動と事前キャンプ地誘致に向けた覚書の締結							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		国際スポーツ大会等誘致推進委員会開催回数（回）		2	2	1	2	2	
指標									
他市との比較検証		2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地の誘致について、愛知県内では刈谷市の他、碧南市、豊田市、安城市など17の自治体が誘致を目指している。（※あいちスポーツコミッションHPより）							
C 事業コスト		単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①	416	4,632	3,784	7,633	合計	3,783,777 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	32,000 円	
		一般財源	416	4,632	3,784	7,633	旅費	315,240 円	
	職員人件費 ②	1,563	3,490	4,629	8,514	需用費	85,143 円		
	総事業費（①+②）	1,979	8,122	8,413	16,147	委託料	3,351,394 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			国際スポーツ大会等招致事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	ハイレベルなスポーツ競技大会を開催することで、「スポーツのまち刈谷」を内外にアピールするとともに、本市における更なるスポーツ振興が図られ、スポーツを通じた青少年の健全育成、生きがいづくり等、本市のまちづくりに大きく寄与するものである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	他市にはない本市の特性を生かした取組みであり、スポーツを通じたまちづくりを推進するために適している事業の1つである。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	スポーツを通じたまちづくりを推進するために、市が主体となって実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」「一市民スポーツ」の実現に向け、その施策の1つである「みるスポーツ」の推進を図る上で、貢献度の高い事業である。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
第3次スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」「一市民スポーツ」の実現に向けた施策の1つとして、今後も事業の拡大を図り、国際スポーツ大会等の誘致を積極的に実施し、スポーツを通じたまちづくりを推進する。					

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	クラブ・団体の育成							
	目的	地域のスポーツ振興のみならず、スポーツを通じた地域コミュニティの形成、青少年育成、高齢者や障害のある人の社会参画の場としての効果を期待する総合型地域スポーツクラブの育成を図る。	主たる内容	○総合型地域スポーツクラブへの運営補助 ○各クラブの自立に向けた調査研究事業委託（総合型地域スポーツクラブ研究会の開催）						
	位置づけ	関連計画	スポーツ基本計画（国）、第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令	スポーツ基本法							
		対象者	市民	事業期間	平成16年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BD 事業実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 3クラブ		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 1クラブ		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回		
成果		研究会の開催によるクラブ間の定期的な情報共有や意見交換、研究会での協議を基にした講習会や卓球交流会等の開催などにより、各クラブの活動の充実やクラブスタッフの資質の向上等を図ることが出来た。								
課題		・会員の確保、活動拠点の確保、安定的な財源の確保、運営スタッフの充実、組織力の強化等、各クラブの自立及び経営の安定化に向けた新たな支援の検討								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		総合型地域スポーツクラブ加入者数（人）		2,182	2,208	2,198	2,350	2,450		
指標										
他市との比較検証		近隣市町のクラブ設立状況 碧南市1クラブ、安城市2クラブ、知立市1クラブ、高浜市1クラブ、東浦町1クラブ								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		950	450	250	250	合計	250,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	250,000円		
		一般財源	950	450	250	250				
	職員人件費②		1,563	1,939	1,929	2,322				
	総事業費（①+②）		2,513	2,389	2,179	2,572				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	総合型地域スポーツクラブには、実施種目や世代の多様性などの特性から、スポーツ振興のみならず、地域コミュニティの形成や青少年の健全育成、高齢者等の社会参画の場の提供などの役割が期待できるため、市がクラブの育成支援を積極的に行うことはとても有益である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	自主財源により継続的に運営できるよう執行体制、運営方法や活動内容を整理し、会員を確保できるようより一層の啓発活動と活動内容の充実が求められている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	地域住民が主体的な運営ができるよう育成支援するために必要な事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策として推進を図っており、活動の充実やスタッフの資質の向上等、市内各クラブの育成に貢献している。また、中学校区ごとに設立された各クラブは、住民が気軽にスポーツ活動等に参加できる場としての役割を果たすことが出来ている。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後について、運営補助金の交付については、削減計画に基づき削減をすすめてきた結果として29年度末をもって終了となりましたが、クラブ運営の基本である自主・自立に向け、引き続き、定期的な研究会の開催により、各クラブ間の情報共有や意見交換、アドバイザーからの助言聴取等を図るとともに、各クラブ、運営の安定化に向けた財源確保策等の検討を進めます。					

会計名			（仮称）逢妻川河川敷運動広場整備事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
10	7	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	市民のスポーツ需要への対応と健康づくりを推進し、スポーツ施設の充実を図る。	主たる内容	県の逢妻川洪水調節地計画に合わせて、運動広場の設計を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
	対象者	施設利用者	事業期間	平成20年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
						・（仮称）逢妻川河川敷運動広場整備のための修正基本設計			
成果		修正基本設計を行った。							
課題		県の逢妻川洪水調節地の計画によっては、整備計画が見直される可能性がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	各種施設が整い、スポーツなどに取組みやすいと思う市民の割合（％）		77.8	—	77.0	79.0	80.0		
成果指標	週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）		44.6	—	38.8	50.0	50.0		
他市との比較検証	近隣市町村には事例がない。神奈川県に1施設あり。								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	886	0	合計	885,600円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	885,600円	
		一般財源	0	0	886	0			
	職員人件費②		0	0	154	0			
	総事業費（①+②）		0	0	1,040	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			(仮称) 逢妻川河川敷運動広場整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	7	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		普通	市民の余暇活動の場を広げる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	逢妻川の増水時の調整池を有効活用ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	亀城公園運動広場の一体的な整備事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	スポーツがしたくなる、できる、続けたい環境整備として貢献。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
関係機関との調整の進捗状況に基づき、事業を進める。					

会計名 一般会計			ウイングアリーナ刈谷等施設改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	3					担当係	業務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	ウイングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷の円滑な管理運営のため必要な整備を行い、施設の適切な運用を図る。	主たる内容	○設備の修繕及び整備工事					
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	施設利用者	事業期間	平成21年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・ウイングアリーナ刈谷フロア図面版修繕 ・ウェーブスタジアム刈谷場内時計システム修繕 女子トイレ工事 監視カメラシステム改修工事		・ウイングアリーナ刈谷メインアリーナ床修繕		・ウイングアリーナ刈谷消防設備修繕 中央操作盤更新工事 他 ・ウェーブスタジアム刈谷第3種公認工事 屋根支柱耐火塗装改修工事 防鳥ネット取付工事 他		・ウイングアリーナ刈谷中央監視装置更新工事 SRノズル更新工事 ウッドデッキ改修工事 他	
成果		計画通り整備できた。							
課題		今後、施設の老朽化による突発的な対応と、計画的な改修が必要になる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		ウイングアリーナ刈谷利用者数（人）		335,295	358,698	349,816	359,000	359,500	
指標									
他市との比較検証		公認陸上競技場 第1種 名古屋市 第2種 豊田市、知多市 第3種 名古屋市、豊橋市、豊川市、一宮市、半田市							
C 事業コスト 建設事業		単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①	9,166	972	306,657	40,823	合計	306,657,036 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	7,907,835 円	
		一般財源	9,166	972	306,657	40,823	工事請負費	298,749,201 円	
	職員人件費 ②	2,735	2,326	2,700	2,322				
	総事業費（①+②）	11,901	3,298	309,357	43,145				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			ウイングアリーナ刈谷等施設改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	7	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民が利用できる施設の拡充に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	スポーツ施設の計画的な整備に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
施設が存続する限り計画的な施設整備（公認工事への対応、国際大会向けの整備計画）が必要である。					

会計名			刈谷球場電光掲示板改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
10	7	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	市民のスポーツ需要への対応と健康づくりの推進のため、スポーツ施設の充実を図る。	主たる内容	老朽化したスコアボードを改修する。					
	位置づけ	関連計画		第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン					
		根拠法令							
		対象者	施設利用者	事業期間	平成30年度 ~ 平成31年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
						・実施設計		・改修工事	
成果		計画通り設計することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		各種施設が整い、スポーツなどに取り組みやすいと思う市民の割合（％）			77.8	—	77.0	79.0	80.0
活動指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）			44.6	—	38.8	50.0	50.0
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,944	150,000	合計	1,944,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,944,000 円	
		一般財源	0	0	1,944	150,000			
	職員人件費 ②		0	0	231	464			
	総事業費（①+②）		0	0	2,175	150,464			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷球場電光掲示板改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	7	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民が利用できる施設の維持に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	スポーツ施設の計画的な整備に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
維持管理のための計画的な施設改修、修繕が必要である。					

会計名			スポーツリーダー養成講座事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ指導者の育成							
	目的	市民がスポーツ活動に取り組み、継続できるように、その推進役となるリーダーを育成し、市民スポーツ活動の活性化、継続化を図る。	主たる内容	○専門知識や実績を有する講師によるスポーツリーダー養成講座の開催						
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	市民	事業期間	平成7年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・スポーツリーダー養成講座開催回数 1回（2コマ） 【講座メニュー】 効果、効率を考えたトレーニング テーピング		・スポーツリーダー養成講座開催回数 1回（2コマ） 【講座メニュー】 どうしたら100%の力を発揮できるのか？（スポーツ心理学） からだの緊張のほぐし方（ヨガストレッチ）		・スポーツリーダー養成講座開催回数 1回（3コマ） 【講座メニュー】 薬、サプリメントと食品の真実の話 心の基礎の創り方（ペックトーク） コーディネーショントレーニング		・スポーツリーダー養成講座開催回数 1回（2コマ）		
成果		日々進歩する専門知識や最新のスポーツ科学を取り入れた研修機会を継続的に提供することにより、参加者のスポーツリーダー、指導者としての資質や知識の向上に寄与することができた。								
課題		・現状、生涯学習指導者名簿等への掲載のみである養成したリーダーを活用するシステムのさらなる拡充 ・参加者数の増加に向けた、実際の現場で活躍されている指導者たちへの効率的、効果的な啓発や講座内容の選定の際のニーズの把握 ・総合運動公園指定管理者が開催している同種の講座との棲み分け又は共催など、効率的・効果的な開催方法の検討								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		スポーツリーダー養成講座修了者数（人）		37	38	41	50	50		
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		97	85	83	151	合計	82,672 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	52,000 円		
		一般財源	97	85	83	151	需用費	30,672 円		
	職員人件費 ②		782	388	386	1,161				
	総事業費（①+②）		879	473	469	1,312				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			スポーツリーダー養成講座事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民がスポーツを継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムとそれを適切に指導する指導者が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知教育大学等の教育機関及びホームタウンパートナーチーム等スポーツ関係団体と協働して、講座のメニュー作りから指導まで一環して行い、産官学連携したスポーツ推進に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	第2次刈谷市スポーツマスタープランの基本施策として推進を図っており、プランに掲げる基本理念やテーマを実現するために、市が主体的に実施していく必要があると考えている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの基本施策として推進を図っており、指導者の資質の向上等に貢献している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
市民のスポーツ活動が多様化、高度化し、指導者へのニーズも質・量ともに増大しており、指導者には、豊かな人間性、競技の専門性、スポーツ環境や条件の管理能力などが求められておりますので、今後については、技術指導だけでなく、スポーツの多様な楽しみ方の指導など、幅広いマネージメントができる指導者の育成に努めます。 また、講座のテーマや回数については、現場の声やスポーツを取り巻く時代の潮流等も参考に決定を行います。					

会計名			総合運動公園管理運営事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
8	4	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	公園内の施設の維持管理作業を指定管理者に行わせることにより、利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。			主たる内容	○総合運動公園の施設、樹木及び植栽地等の管理運営業務			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	都市公園法						
	対象者	公園利用者			事業期間	平成29年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
				公園と体育施設の一体的な管理をすることができた。		公園と体育施設の一体的な管理をすることができた。		・指定管理者による管理運営	
成果		都市公園内にある体育施設と一体的に指定管理者が管理することにより、利用者への対応などがスムーズに行うことができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			71.4	—	75.7	75.7	80.0
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	37,284	37,234	38,095	合計	37,233,820 円	
	財源	特定財源	0	253	750	601	需用費	694,494 円	
		一般財源	0	37,031	36,484	37,494	委託料	36,243,360 円	
	職員人件費 ②		0	2,016	2,006	2,012	使用料及び賃借料	295,966 円	
	総事業費（①+②）		0	39,300	39,240	40,107			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		財産収入 諸収入			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			各種大会補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	指導係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実							
	目的	トップリーグをはじめとする全国大会等を本市に誘致することで、競技者の拡大や青少年の健全な育成、競技力向上及び競技団体の強化を図るとともに、市民が間近に観戦する環境を整え、見るスポーツの促進を図り、市民が多くのスポーツにふれる機会を提供する。	主たる内容	○全国大会等開催費用の一部助成						
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市体育協会へ関連する競技団体	事業期間	～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする16の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする22の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする22の大会に補助金を交付する。		
成果		全国レベルの大会等を誘致することで、市民がスポーツに触れる機会を創出するとともに、「みる・ささえるスポーツ」を通じて、スポーツ活動に参加できるきっかけづくりを行った。また、青少年がスポーツに親しみ、競技力の向上や幅広い交流を行う機会を支援し、青少年の健全育成を図った。								
課題		みる、ささえるスポーツを通じて、本市の更なるスポーツ振興をはかるため、事業を充実させ、全国大会や世界大会の積極的な誘致を行う。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		大会数（大会）			19	16	22	22	22	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		10,226	11,879	28,662	15,762	合計	28,661,914 円		
	財源	特定財源	0	0	2,850	0	負担金、補助及び交付金	28,661,914 円		
		一般財源	10,226	11,879	25,812	15,762				
	職員人件費 ②		1,954	1,163	1,350	1,316				
	総事業費（①+②）		12,180	13,042	30,012	17,078				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0		特になし。				
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派				担当部	教育部		
款	項	目	遣事業			担当課	スポーツ課		
10	7	2				担当係	指導係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会に刈谷市代表選手を派遣し、市民にPRすることで、競技の普及を図るとともに、刈谷市を含めた愛知県内の市町村スポーツ振興に寄与する。	主たる内容	愛知県が後援している愛知県陸上競技協会及び東海テレビ放送が開催する大会に刈谷市より選手を派遣する事業を実行委員会に委託する。					
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	選抜選手並びに実行委員	事業期間	平成18年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		各部門2名計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第10位入賞		各部門2名計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第10位入賞		各部門2名計18名の選手を選出し、4回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第11位		各部門2名、計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行う。 ・目標順位 第7位入賞	
成果		大会を通じて愛知万博を次世代へ継承するとともに、競技者育成、市町村相互の交流及びスポーツ振興を図ることができた。							
課題		世代ごとの選手選考及び発掘が課題である。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	総合順位（位）		10	10	11	7	5		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		270	270	300	305	合計	300,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	300,000 円	
		一般財源	270	270	300	305			
	職員人件費 ②		3,908	3,102	3,086	3,638			
	総事業費（①+②）		4,178	3,372	3,386	3,943			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			各種大会開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	普及係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	各種目毎に参加者相互の情報交換と交流を深めるとともに、スポーツの普及振興に寄与する。	主たる内容	○専門の知識と実績を有する団体等への事業委託による各種スポーツ大会の開催					
	位置づけ	関連計画		第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン					
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 698人 ミニテニス 100人 ユニホッケー 70人 GOGOウォーキング150人 参加者数 計1,018人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 729人 ミニテニス 86人 ユニホッケー 84人 GOGOウォーキング137人 参加者数 計1,036人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 724人（中止） ユニホッケー 71人 GOGOウォーキング142人 参加者数 計213人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 ユニホッケー GOGOウォーキング	
成果		市民が気軽に参加できる大会を開催することにより、選手間の交流が深められた。また、日頃のスポーツ活動の成果を発揮できる場を提供することにより、競技力や取組み意欲の向上を図ることが出来た。 誰もが、いつでも、どこでも、手軽に始められ、継続して行うことが出来るスポーツであるウォーキングの大会を開催することにより、普段スポーツに関わりの少ない市民にスポーツを始めるきっかけ作りを行うことが出来た。							
課題		・競技団体による自主的な大会開催への移行促進 ・競技者が大会に参加したくなるような効果的、効率的な啓発							
O 実施	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	活動指標	各種大会、イベント参加者数（人）		12,689	12,994	12,191	13,000	13,000	
指標									
	他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		480	481	381	404	合計	380,850 円	
	財源	特定財源	144	135	106	140	役務費	46,850 円	
		一般財源	336	346	275	264	委託料	334,000 円	
	職員人件費 ②		1,954	1,939	1,543	1,935			
	総事業費（①+②）		2,434	2,420	1,924	2,339			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		大会参加料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		ニュースポーツ普及事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	普及係	
10	7					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	生涯スポーツの振興にあたり、市民が手軽に楽しめる環境づくりを推進するため、ニュースポーツを広く紹介する。		主たる内容	○刈谷市スポーツ推進委員協議会への委託によるスポーツふれあいday等の開催				
	位置づけ	関連計画 第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン 根拠法令							
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・スポーツふれあいday 開催回数 20回 一般参加者数 747人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール等 ・ノルディック・ウォークステーション 開催回数12回 一般参加者数 303人		・スポーツふれあいday 開催 14回 一般参加者数 504人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール等 ・ノルディック・ウォークステーション 開催回数11回 一般参加者数 266人		・スポーツふれあいdayの開催 12回 一般参加者数 436人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール等 ・ノルディック・ウォークステーション 開催回数12回 一般参加者数 270人		・スポーツふれあいdayの開催 (支部開催及び全体会) 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催(月1回)	
		成果	子どもから高齢者まで、多くの市民に、スポーツを始める、スポーツに親しむきっかけ作りを行うことができた。 ノルディックウォークのアンケートによると、継続的に参加されている市民が多く、継続して運動する場を提供することができた。						
課題		・スポーツをしていない人たちが、スポーツに対して興味・関心を持ち、スポーツ活動に参加したくなるような効率的、効果的な啓発 ・競技種目の継続実施を希望する方々に向けた、既存競技団体等への橋渡しや受け皿の確保 ・効率的なイベント開催によるスポーツ推進委員の負担の軽減							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		スポーツふれあいday等開催回数(回)		32	25	24	27	27	
成果指標		スポーツふれあいday等一般参加者数(人)		1,050	770	706	930	930	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)	30年度事業費内訳	
	事業費①		200	200	200	540	合計	200,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	200,000円	
		一般財源	200	200	200	540			
	職員人件費②		1,172	1,163	1,543	1,935			
	総事業費(①+②)		1,372	1,363	1,743	2,475			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			各種大会出場選手激励事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	各競技団体などが主催する全国大会等に、刈谷市から出場する選手に対して激励金を交付することにより、大会での活躍を激励するとともに、各競技の技術向上を図り、社会体育全体の普及振興に資する。	主たる内容	国際大会、全国大会等に出場する選手を激励し、補助を行う。					
	位置づけ	関連計画		第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン					
		根拠法令							
		対象者	全国大会出場届提出者	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・交付人数 751人 ・交付金額 2,863,000円		・交付人数 453人 ・交付金額 3,019,000円		・交付人数 494人 ・交付金額 3,294,000円		・交付見込人数 550人 ・交付見込金額 3,200,000円	
成果		本市から世界大会や全国大会等へ出場する選手に対して、激励金を交付することにより大会の活躍を願い激励した。また、各種大会出場選手への激励並びに補助を行い、スポーツ振興と競技力向上に努めるとともに、全国大会等出場選手の把握に努めることができた。							
課題		平成29年度より交付基準の改正をおこなったため、各種大会出場選手に対して各種大会出場選手激励事業の交付基準を広く周知していく必要がある。							
O 実績 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	活動指標	交付人数（人）		751	453	494	550	550	
	指標								
	他市との比較検証								
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,072	3,019	3,294	3,200	合計	3,294,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	3,294,000 円	
		一般財源	3,072	3,019	3,294	3,200			
	職員人件費 ②		1,954	1,163	1,350	1,316			
	総事業費（①+②）		5,026	4,182	4,644	4,516			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			かきつばたマラソン大会開催事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	2					担当係	指導係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	マラソン競技者の拡大及び市民のスポーツ競技の参加意欲の増進を図り、体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図る。	主たる内容	年齢別男女別の1.5、3、10kmのマラソンコースと誰でも気軽に参加できるジョギングコースを設定し、市民マラソン大会を開催する					
	位置づけ	関連計画		第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン					
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和48年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,759人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,852人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,868人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、2,000人の参加者を見込む。	
成果		参加者に対して当日の受付方法などの事前周知を図るため、今大会から事前案内等を送付したことにより、受付業務を例年以上に滞りなく実施することが出来た。また、刈谷市ホームタウンチームであるシーホース三河及びトヨタ紡織陸上部との協力により参加賞としてコラボTシャツ等を作成し好評を得ることができ、市民の体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図ることができた。							
課題		参加者の安全面を第一に配慮した企画運営を実施し、引き続き参加者数に対応したコース変更の検討が必要である。また、本市の特色をさらに生かし、参加者のニーズにあった本大会の方向性の検討が必要である。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
	活動指標	参加者数（人）	1,759	1,852	1,868	2,000	2,000		
	指標								
	他市との比較検証	県内の多くの自治体で、同様の市民マラソン大会が実施されている。（知立市・安城市・岡崎市・東浦町・大府市・高浜市・みよし市・犬山市など）							
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,949	2,014	1,985	2,046	合計	1,984,576 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	16,000 円	
		一般財源	1,949	2,014	1,985	2,046	原材料費	396,576 円	
	職員人件費 ②		4,689	3,877	4,244	4,876	負担金、補助及び交付金	1,572,000 円	
	総事業費（①+②）		6,638	5,891	6,229	6,922			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷市体育協会補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	指導係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	クラブ・団体の育成							
	目的	市民の健全な心身の発展に寄与することを目的に活動する刈谷市体育協会に対し補助を行い、本市における体育・スポーツ団体を統括するとともに、市民スポーツの普及振興を図る。			主たる内容	○市民のスポーツ活動の向上等に関する調査研究 ○スポーツ団体の育成・強化 ○スポーツ団体への情報提供 ○スポーツ大会等の実施 ○体育施設の充実等についての指導及び助言 ○その他目的の達成に必要な事業の実施				
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市体育協会加盟団体		事業期間	昭和34年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際大会等の誘致に向けた取組 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市体育協会創立60周年記念事業及び刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組 		
成果		各種事業を実施し、市民スポーツの普及振興を図るとともに、スポーツ少年団への補助やスポーツ振興事業開設補助によりジュニア育成事業の一層の推進を図り、本市の将来を担う競技者の育成を図った。また、刈谷市と協働しながら、国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組を行い、「みる・ささえるスポーツ」の普及に努めた。								
課題		本市における体育・スポーツ団体の中心的な組織として、継続した活動を行うため、安定した財源確保に努めていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		加盟人数（人）			12,076	11,983	11,966	13,000	13,000	
指標										
他市との比較検証		公益財団法人・・・豊橋市・豊田市・小牧市・名古屋市・岡崎市 NPO法人・・・犬山市・安城市								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		4,550	4,550	4,550	8,550	合計		4,550,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金		4,550,000円	
		一般財源	4,550	4,550	4,550	8,550				
	職員人件費②		7,815	7,754	8,487	6,579				
	総事業費（①+②）		12,365	12,304	13,037	15,129				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			刈谷市レクリエーション協会補助事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	クラブ・団体の育成						
	目的	刈谷市レクリエーション協会に対し補助を行い、市民の健康と文化の向上並びに健全なスポーツ・レクリエーション活動の実施、普及を図る。		主たる内容	市内のスポーツ・レクリエーション団体を束ね、各団体の指導育成、各種大会の開催及び指導者養成などの事業を実施する。				
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	刈谷市レクリエーション協会加盟団体	事業期間	昭和22年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 	
成果		市民の健康と文化向上を図るため、各種スポーツ・レクリエーション活動を実施するとともに、加盟団体の支援・育成に努め、更なる生涯学習活動の振興が図られた。							
課題		市内のスポーツ・レクリエーションの更なる普及・振興を図るため、協会所属団体が主体性を持って継続的、組織的に活動できる仕組みと次代を担うレクリエーションリーダーの養成が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		加盟人数（人）		1,609	1,690	1,690	1,750	1,750	
指標									
他市との比較検証		【他市レクリエーション協会加盟状況】 名古屋市、豊橋市、一宮市、碧南市、西尾市、稲沢市、日進市、岩倉市、豊明市、北名古屋市、清須市、長久手市、あま市、弥富市							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		1,920	1,920	1,920	1,920	合計 1,920,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,920,000円		
		一般財源	1,920	1,920	1,920	1,920			
	職員人件費②		5,471	5,428	5,401	5,031			
	総事業費（①+②）		7,391	7,348	7,321	6,951			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			ウイングアリーナ刈谷等施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
10	7	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	ウイングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷の管理及び運営を指定管理者に行わせることにより住民サービスの向上と経費削減を図る。	主たる内容	○体育施設の管理、運営 ○体育施設の利用受付 ○自主事業の開催					
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令	地方自治法、刈谷市体育施設条例						
	対象者	施設利用者	事業期間	平成19年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営	
成果		効率的な管理運営が行われている。民間のノウハウを生かした各種事業が実施された。毎年、安定して多くの利用がある。自主事業の教室の参加者数も毎年増加している。							
課題		11年が経過し、今後の施設の維持管理計画を考えていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		各種施設が整い、文化やスポーツ、学習活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）		77.8	—	77.0	79.0	80.0	
成果指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）		44.6	—	38.8	50.0	50.0	
他市との比較検証		他市の施設管理、指定管理 直営 安城市、豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 知立市、碧南市、高浜市							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		252,795	262,606	259,013	274,354	合計	259,012,834 円	
	財源	特定財源	55,730	60,215	59,867	52,621	需用費	59,854,465 円	
		一般財源	197,065	202,391	199,146	221,733	役務費	1,143,571 円	
	職員人件費 ②		4,298	3,893	4,244	4,257	委託料	193,401,440 円	
	総事業費（①+②）		257,093	266,499	263,257	278,611	使用料及び賃借料	4,613,358 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		使用料及び手数料			
2年度以降の事業費見込		0		財産収入 諸収入					

会計名 一般会計			体育館等施設管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	3					担当係	業務係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	刈谷市内の体育施設(刈谷市体育館他7施設)の施設管理及び運営を指定管理者に行わせるなど効率的に行い、円滑な管理運営を図る。			主たる内容	○体育施設の管理、運営 ○体育施設の利用受付			
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
			根拠法令	地方自治法、刈谷市体育施設条例					
		対象者	施設利用者	事業期間	平成19年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者及び直営による管理運営	
成果		指定管理を行っている施設の経費節減が図られた。毎年、安定して多くの利用がある。							
課題		・指定管理範囲外の施設の、より円滑な管理運営方法の検討 ・体育館の施設維持老朽化対策							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		各種施設が整い、文化やスポーツ、学習活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）			77.8	—	77.0	79.0	80.0
成果指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）			44.6	—	38.8	50.0	50.0
他市との比較検証		他市の状況、指定管理 豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 直営 安城市、知立市、碧南市、高浜市							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		142,091	144,523	146,499	159,666	合計	146,498,831 円	
	財源	特定財源	34,473	35,084	35,942	34,353	需用費	3,611,747 円	
		一般財源	107,618	109,439	110,557	125,313	役務費	301,511 円	
	職員人件費 ②		3,517	3,877	3,858	3,870	委託料	142,584,973 円	
	総事業費（①+②）		145,608	148,400	150,357	163,536	使用料及び賃借料	600 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		使用料及び手数料 財産収入 諸収入			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			学校開放事務費事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	業務係		
10	7	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放							
	目的	学校教育に支障のない範囲で、小中学校の体育施設を地域住民のスポーツ活動の利用に供し、市民の健康の保持増進と体力の向上を図る。	主たる内容	○各小中学校開放運営委員会及び管理指導員による施設開放の実施 ○学校開放施設の修繕 ○競技用備品の購入						
	位置づけ	関連計画		第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令		刈谷市立小中学校体育施設等のスポーツ開放に関する規則						
		対象者	市民	事業期間	昭和52年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・利用件数 9,745件 ・利用人数 207,263人		・利用件数 9,797件 ・利用人数 210,428人		・利用件数 9,251件 ・利用人数 183,048人		・利用件数 10,000件 ・利用人数 210,600人		
成果		多くの市民にスポーツ活動の場を提供することができ、一市民スポーツの推進が図られたとともに、市民の健康の保持増進と体力の向上に寄与することができた。								
課題		施設利用の効率化や各学校の開放運営委員会事務担当者の負担の軽減等を図るための、学校スポーツ開放のあるべき姿や実施方法等の見直し、検討								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標	学校スポーツ開放登録人数（人）		10,572	10,068	9,089	9,500	9,600			
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		20,689	15,055	14,099	14,521	合計	14,098,641円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	11,760,000円		
		一般財源	20,689	15,055	14,099	14,521	需用費	860,241円		
	職員人件費②		3,126	3,102	3,086	4,334	委託料	1,478,400円		
	総事業費（①+②）		23,815	18,157	17,185	18,855				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			体育館施設改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	スポーツ課		
10	7	3					担当係	業務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	スポーツ						
			施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的		体育施設の円滑な管理運営を図る。		主たる内容	○体育施設及び設備の改修工事				
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者					事業期間	平成28年度～			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 自家発電ラジエーター取替修繕 冷温水発生機用冷却水ポンプ取替修繕 冷温水ポンプ取替修繕 受変電設備改修工事 水冷チラー更新工事 中央監視装置更新工事 		<ul style="list-style-type: none"> 吊物設備取替修繕 消火設備取替修繕 外壁改修等工事 空調設備更新工事 弓道場安土改修工事 球場外野クッションフェンス改修工事 電灯変圧器取替工事 便所排気ファン取替工事 		<ul style="list-style-type: none"> 港町グラウンド看板修繕 キッズルーム床改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> リモート装置更新工事 空調用ダクト等更新工事 電話交換機更新工事 住吉テニスコートフェンス改修工事 井ヶ谷グラウンド防球ネット設置工事 		
成果		計画通りに改修できた。施設の老朽化による突発的な修繕への対応も行うことができた。								
課題		施設の老朽化により、予期しない修繕等も考えられるため、日頃の点検を強化した上で維持管理計画を考える必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		各種施設が整いスポーツ活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）			77.8	—	77.0	79.0	80.0	
活動指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）			44.6	—	38.8	50.0	50.0	
他市との比較検証		体育館施設 安城市2棟（S54、H12）、碧南市1棟（H7）、知立市1棟（S57）、高浜市1棟、西尾市5棟（S54、S59、H4、H5、H21）								
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		41,609	119,906	2,676	30,600	合計 2,676,240円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 395,280円			
		一般財源	41,609	119,906	2,676	30,600	工事請負費 2,280,960円			
	職員人件費②		2,735	2,326	1,929	2,322				
	総事業費（①+②）		44,344	122,232	4,605	32,922				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			スポーツ推進委員事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○自主事業の開催 ○啓発冊子の発行 ○市民の要望に応じた実技指導の実施 ○学校、公民館等の教育機関その他行政機関が行うスポーツ行事又は事業への協力 ○定例会議の開催 ○研修会等への参加			
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ指導者の育成							
	目的	地域のスポーツ推進のために活動するスポーツ推進委員の支援を行う。								
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令	スポーツ基本法、刈谷市スポーツ推進委員に関する規則							
		対象者	市民、スポーツ推進委員		事業期間	昭和37年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 35回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 28回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 35回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 ・地域への推進員派遣 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		
成果		地域のスポーツコーディネーターとして、一市民一スポーツの推進に寄与することができた。 支部会及び部会、企画委員会をそれぞれ毎月1回定例で開催することにより、スポーツ推進委員間の情報共有や交流促進、連携強化等が図られ、事業等を円滑に実施することが出来た。								
課題		・スポーツ推進委員の資質の向上と技能の習得 ・人口等に比した適切な人数の確保及び推進委員の高齢化への対策 ・委員の選定方法や報酬額についての検討								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）		44.6	—	38.8	50.0	50.0		
指標										
他市との比較検証		近隣市の推進委員の数及び委員1人あたりの人口（愛知県調査「平成29年度生涯スポーツの実態」より） 刈谷市50人／3,012人 碧南市30人／2,425人 安城市55人／3,431人 知立市29人／2,475人 高浜市25人／1,932人 岡崎市118人／3,279人 西尾市57人／3,016人 豊田市157人／2,717人								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,227	566	719	575	合計	719,103 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	181,680 円		
		一般財源	1,227	566	719	575	需用費	275,403 円		
	職員人件費 ②		2,345	2,326	2,700	3,096	役務費	82,050 円		
	総事業費（①+②）		3,572	2,892	3,419	3,671	委託料	5,670 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								